

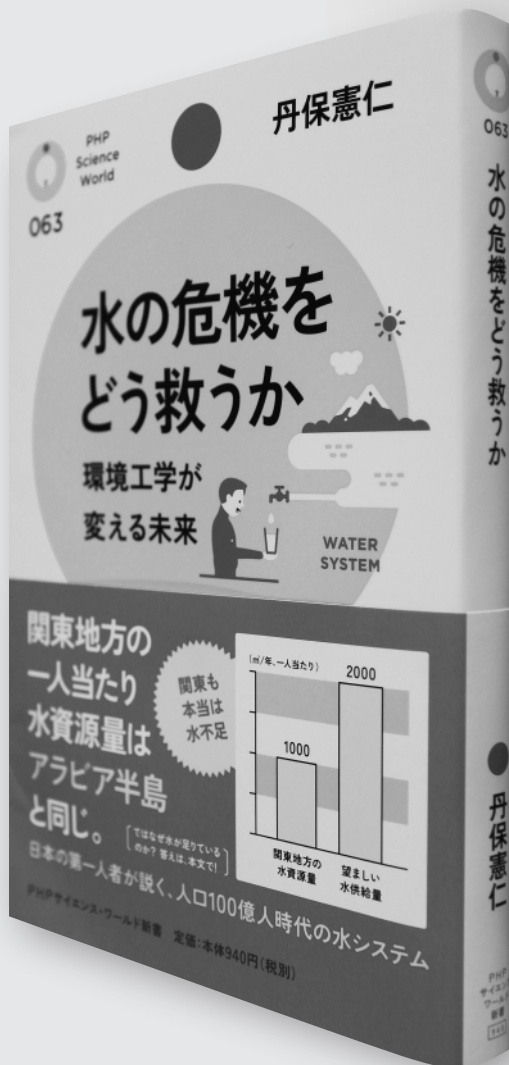
# 書籍紹介

世界で最も根本的かつ喫緊の課題ともいえる水問題。  
深刻な危機を克服するための、日本の最先端技術を活かした水システムとは？

## 水の危機をどう救うか

環境工学が変える未来

丹保 憲仁 著



安全に飲用水を利用できない人が、世界には9億人存在する。まして世界人口が100億人に達する未来、洗濯や庭の水やりにまで飲用可能水を使うことは難しくなる。実は日本でも、関東地方の1人当たり水資源量はアラビア半島と同じようなレベルで、1年間で1000立方メートルしかない。一方、自立するのに望ましい水供給量は1年1人当たり2000立方メートルである。ではなぜ水が足りているのか？ その答えは本書をお読みいただきたい。

### 第1章

人口100億人超の世界と日本

### 第2章

人はどのように水を使ってきたか

### 第3章

量から質の世界へ

### 第4章

分散型の技術へ

環境工学の碩学が、ローマやロンドン、さらに江戸・東京の水道開発の苦闘の歴史をひもときながら、「環境湖」を設け膜技術で水を再生する「水環境区」のシステムを提唱。そのモデルとなる、水資源に乏しいシンガポールや西安(中国)での実践例も紹介する。

PHPサイエンス・ワールド新書 新書判並製・320ページ ISBNコード：978-4-569-80925-0  
定価(消費税別) 940円